

令和2年度

種子島西之表市

いけばな展



※写真は、市ALT(外国語指導助手)トリステン・カシオさんの作品です。

＊日時 / 令和2年 11月28日[土] 8:30 ~ 17:00
29日[日] 8:30 ~ 16:00

＊会場 / 種子島開発総合センター「鉄砲館」

＊主催 / 西之表市教育委員会 ＊協力 / きたる アール・オブ フォー アール・オブ はなぶさ hanaya 西之表市花き振興会

「いけばな」と種子島

種子島におけるいけばなの歴史は、『羽生道潔』が寛政4年(1792年)鹿児島への丸田尚澄に入門して花道を学び、文化6年(1809年)41歳の時、華道丸田流の指南免状を得たことに始まります。

道潔の孫、『羽生慎翁』も、幼少から祖父や父の影響を受け華道を学びました。明治2年、43歳の時に京都へ遊学し、池坊第42世家元専正氏に本格的に華道を学び、

池坊正流を初めて種子島に伝えました。

その後も、華道一筋に専念し、明治8年に専正氏より生花伝法皆伝立花数ヶ条の伝授を受けると、梅陰亭月窓と号し、更に努力を重ねました。

明治12年、薩摩、大佛会頭職を務めると、明治15年には大日本総会頭職となり、明治22年には池坊東京出張所の初代所長を務めるなど、門弟の中心人物となり最前線に「華道池坊」の普及に尽力しました。

慎翁の生家である月窓亭には、その功績が称えられ、池坊第45世家元専永氏から記念碑が贈られています。

❁ 出品者

- 中野 スエ子 (池坊すみれ会)
 川村 洋子 (池坊すみれ会)
 木村 征子 (池坊すみれ会)
 倍 由美子 (池坊すみれ会)
 上妻 和子
 小濱 京子



いけばな体験

11月29日(日)
 10:00 ~ 12:00

先着60名

体験無料

誰でも気軽に
 チャレンジできます
 できあがった作品は
 「お持ち帰り」できます

